MAZDA

2026 年 11 月 19 日

新型「MAZDA CX-5」が独「ゴールデンステアリングホイール賞」を受賞

ーCX-5 として初、マツダ車としては 7 年ぶりの受賞ー

マツダ株式会社（以下、マツダ）は、新型「MAZDA CX-5」が、このたび、ドイツで最も権威のある自動車賞のひとつである「ゴールデンステアリングホイール賞」において、「35,000 ユーロ以下のベストカー（Bestes Auto unter 35.000 Euro）」を受賞したことを発表しました。「CX-5」としては初、マツダ車としては 7 年ぶりの受賞となります。



新型「MAZDA CX-5」（欧州仕様）

「ゴールデンステアリングホイール賞」は、ドイツの自動車専門誌「AUTO BILD（アウトビルト）」および「BILD am SONNTAG（ビルト日曜版）」が主催する自動車賞で、1976 年に創設され、今年 50 周年を迎えています。「CX-5」は AUTO BILD 編集部により「35,000 ユーロ以下のベストカー」として選出されました。AUTO BILD 編集部は、選考理由について次のように評価しています。「『CX-5』は、広い室内空間と日常での高い使い勝手、最新の技術を手頃な価格で兼ね備えています。3 代目では先代より室内が大幅に広くなり、583 リットルの荷室と優れた乗り心地を備えています。標準装備のオートマチックトランスミッションと、コックピットに統合された最新の Google 機能が、このクルマの魅力をさらに高めています。」

受賞に際し、11 月 10 日にベルリンで行われた授賞式に参加したマツダモーターヨーロッパ GmbH 副社長の四島 邦裕（ししま くにひろ）は、「同賞は、実際の日常環境における厳格な比較評価を経て選出される非常に重みのある賞であり、今回の受賞を大変光栄に思います。新型『CX-5』はサイズを拡大し、より現代的に進化しながらも、マツダらしい走りを継承しています。その点を評価いただけたことは、私たち日本と欧州の開発チームによる共創の成果が認められた証です。」と述べました。

マツダの受賞は 1985 年・1989 年の「MAZDA323（日本名：マツダ ファミリア）」、1992 年の「MAZDA626（日本名：マツダ カペラ）」、2014 年の「MAZDA2」、2019 年の「MAZDA CX-30」に続く 6 回目です。

マツダは、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る歓び」を進化させ続け、お客さまの日常に移動体験の感動を創造し、「生きる歓び」をお届けしていくことを目指してまいります。

■3 代目「MAZDA CX-5」

開発コンセプト「新世代エモーショナル・デイリーコンフォート」の下、お客さまの日々の使い勝手に徹底したこだわった商品です。「魂動デザイン」や「人馬一体」の走りを継承・深化させるとともに、室内空間の広さや使い勝手、乗り心地、静粛性を進化させています。また、一新した HMI（ヒューマン・マシン・インターフェース）、強化・拡充した通信機能やアプリケーション、進化した先進運転支援システム（ADAS）などにより、すべての乗員が安心・安全・快適にドライブを楽しめるクルマを目指しました。

■MAZDA CX-5 の沿革

［初代 CX-5］

2011 年 9 月	「フランクフルトモーターショー*1」で世界初公開
2012 年 11 月	「日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
2015 年 4 月	世界累計生産 100 万台を達成

［2 代目 CX-5］

2016 年 11 月	「ロサンゼルス自動車ショー*2」で世界初公開
2022 年 2 月	米国道路安全保険協会（IIHS）の安全性評価において最高評価の「IIHS TOP SAFETY PICK+」を 9 年連続で獲得

［3 代目 CX-5］

2025 年 7 月	欧州で世界初公開
2025 年 12 月	世界累計生産・販売台数 500 万台を達成
2026 年 11 月	日本カー・オブ・ザ・イヤー 「10 ベストカー」を受賞

以　上

---

*1　正式名称は「64th Internationale Automobil-Ausstellung」。
*2　正式名称は「Los Angeles Auto Show」。